

異議申入書

2017年10月28日

江戸川区長 多田正見殿

〒132-0035 江戸川区平井 2-4-13

江戸川区民オンブズマン

代表幹事 深谷 静雄



次の通り異議の申入れをします

1、申入れの対象となる契約件名又は措置

公共調達制度に基づく平成29年2月24日実施の「葛西小・中学校改築に伴う機械設備工事」入札結果は、1者入札・落札率100%でした。

具体的には、葛西小・中の機械設備工事への入札申請は5者あったが、入札（応札）は1者であった。さらに、その1者の入札額は予定価格と同一額であり落札率は100%でした。これは、競争入札制度が形骸化・実質失われたというほかいいようがありません。

*空調と給排水工事の入札から機械設備工事への統合による入札経過は、別表の通りです。

2、異議ある事項及びその根拠

したがって、何らかの方策をとることは当然と考えていましたが、江戸川区の対処は次の通りであります。断じて許されません。異議を申し立てます。

○江戸川区では、「落札の低率は調べるが、予定価格内なら（100%も含む）問題はないから調べない」「入札申請が複数なら水面下での競争はあるから1者応札でも成立する」「予定価格の事後発表は行わない」と強弁しています。

○また、公共調達審査会は、かつて23.7.6審査会議事録「1者入札などの課題が解消しない場合、制度を大きく転換する必要がある」という意見でありました。しかし、当案件に関して「有効な応札が1者にとどまったことは、残念である」とだけ述べています。

この大幅な後退はなぜなのでしょう。

したがって、下記のような根拠をも踏まえて、江戸川区は「1者入札・100%落札」に対処し、今後の再発防止に備えるべきであります。

1)公正取引委員会は、平成23年9月「官製談合防止に向けた発注機関の取組に関する実態調査報告書」において ①1者入札（応札のこと） ②同一事業者による長期継続受注 ③落札率100% の案件は、不自然な状況であるとして、発注機関はどのような対策をとっているかアンケートをとり、その結果を発表しています。

それによれば①の場合、対策をとっているのは38.7%（国の機関は90%）、②の場合14.2%

(国の機関は 45%) ③の場合 21.9% (国の機関は 50%) となっています。

2) 東京都は今年の 3 月に、清州市場 3 棟がいずれも「1 者入札 99.9% 落札」であることに端を発して、1 者入札は「開札せずにやり直す」こととし、「予定価格は事後発表」とすることを決めました。

3. 異議ある事項及びその根拠 (その 2)

機械設備工事は応札する事業者が減少し、寡占化しています。今後、事実上は 1~2 者による棲み分け的な受注に傾斜していくのではないのでしょうか。公取のいう②に該当することとなります。

これは、基本条例制定の基となった「公共調達システムのあり方～最終答申～」では「効率性と競争性とを考慮し」「契約単位を大きくする方法もなくはないが、維持管理・補修を勘案した場合、解体工事・建築工事・電気工事・給排水工事・空調工事などの個別の工事を分離発注するという方式が適切である」としていました。ところが、区は当初から(松江小)入札に当たって、給排水工事と空調工事をダブルエントリーできることとして入札を行ったのです。さらに 27 年からは機械設備工事に統合してしまったのです。そのために、入札業者は極度に減っていき、区内の中小業者は入札から排除される結果を生んできました。小さくとも専門性の高い区内業者を育成する観点はなくなり、大きな業者優先に転換した結果と考えられます。

4. 以上のように公取のいう不自然な「3つの事例」には次の通り対処することを申し入れます。

- ①この案件での談合がなかったどうか調べること
- ②入札申請しながら、応札しなかった理由を調査すること
- ③今後、1 者入札 (応札) は、開札せずにやりなおすこと
- ④今後、100% 入札は競争がないことを前提としたものであるから、1 者・100% 入札であれば、開札せずに談合がないかどうか調査すること
- ⑤予定価格は事後発表として、その場合は入札担当の職員は複数以上とし、任期が異なる者を組み合わせること
- ⑥工事発注は「最終報告」通り、分離発注し、ダブルエントリーも認めないこと

以上

添付資料

「空調・給排水 (機械設備工事) の入・落札の経緯表」

空調・給排水(機械設備工事)の入・落札の経緯表 単位:百万円(未滿四捨五入) 2017.9.30 深谷作成 *小松川2中、葛西小・中は 単位:円(税込額)

松江小 23.3.16		船堀小 24.2.20		二葛西小 24.2.9		春江小 25.2.20		松江5中 25.3.6		第3松江 27.1.23		篠崎第3 27.1.23		小松川2中 28.1.19		葛西小・中 29.2.24	
予定価格	306	311	341	336	286	470	444	498,700	843,037,200	498,700	498,000	498,000	498,000	498,000	498,000	843,037,200	
アイ・エヌ・オー	298	アイ・エヌ・オー	283	オーク設備	辞退	千賀商事	272	三光エンジニア	272	アイ・エヌ・オー	辞退	アイ・エヌ・オー	444	三光エンジニア	444	日立プラントサービス	辞退
東京セントラル	295	東京セントラル	268	三辰工業	312	日本装芸(江戸川支店)	230	アイテック	272	東京セントラル	465	東京セントラル	辞退	千賀商事	444	東京セントラル	843,037,200
三建設	238		330	アイテック	279	アイテック	246	三光エンジニア	246			日新設備	444			アイテック	辞退
三光エンジニア	246		320			金沢工業	229	日管工業	229							川本工業	辞退
金沢工業	無効			金沢工業	270	金沢工業	229	日管工業	229							川本工業	辞退
4者	80.4%	1者	86.2%	4者	83.0%	3者	83.0%	5者	86.0%	1者	98.9%	2者	100.0%	2者	99.3%	1者	100.0%
予定価格	169	162	187	181	147	147	147	147	147	147	147	147	147	147	147	147	147
千賀商事	168	協和日成	162	アイ・エヌ・オー	186	浦安工業	147	浦安工業	147	機械設備に併合							
アイテック	170	東京セントラル	162	アイテック	187	アイテック・アイエスアイJV	145	日本装芸(江戸川支店)	145								
川本工業	辞退			日本装芸(江戸川支店)	辞退	金沢工業	144	千賀商事	144								
1者	99.4%	2者	100.0%	2者	99.5%	3者	98.0%	3者	98.0%								